

第三 本問題ノ由來

四

(甲) 十八歳未満ノ者ヲ火夫若ハ石炭夫トシテ使用スルコトヲ禁止スルノ件
右ハセノア會議ニ於テ其第三議題タル「十四年以下ノ幼年者ヲ海員トシテ僱使スルコトヲ禁止スル件」ノ審議ヲ委託セラレタル委員會ニ於テ委員ノ一員タリシ佛國船主代表バンナン氏(M. Vincent)ヨリ「十六歳未満ノ者ヲシテ夜間當直ニ立タシメザルノ件」ト其ニ原案ヘノ追加事項トシテ提出セラレタルモノニシテ同委員會ニ於テハ右動議ヲ異議ナク採擇シ之ヲ夫レノ第四條及第五條トシテ原案ニ挿入シテ委員報告ヲ調製シ之ヲ六月二十八日ノ總會ニ報告シ其ノ討議ニ附シタリ。然ルニ日本政府代表内田嘉吉氏ハ此ノ新挿入ノ兩條ハ議題ノ範圍外ニ在リ從テ之ヲ討議スルコトハ勞働規約ニ違反シタルモノニシテ明カニ委員會ノ權限ヲ踰越シタルモノト爲シ之ガ削除ヲ主張シタリ依ツテ委員會案ノ逐條審議ニ當リ此ノ兩條ハ五十三對十五ニテ削除スルコトニ決シタリ。然レドモ其ノ總旨ハ次期總會ノ議題ト爲スベキ動議トシテ提出セシムルコト、ナリ更メテ同委員會ヨリ之ヲ六月二十九日ノ總會ニ提出シタル所屬選代表ノ提議ニテ兩條ヲ分離シテ採決シタル結果第五條十六歳未満ノ者ヲ夜間當直ニ立タシメザルノ件ハ賛成五十二反對二十八ニテ三分二以上ノ多數ノ賛成ヲ得ル能ハズシテ否決ノ運命ニ際會シタルモ第四條(即本件)ハ六十九對十一ニテ三分二以上ノ多數賛成者アリタルヲ以テ愈々次期ノ總會ノ議題ト爲スコトニ可決確定シタルナリ

(乙) 船舶ニ使用スル一切ノ兒童ニツキ製鋼體格検査ヲ施行スルノ件

右ハセノア會議ニ於テ伊太利政府代表ミケリス氏(Mr. Micheli)ガ提案シタルモノニシテ六月二十九日七十八對二ノ多數ニテ之ヲ可決シ次期總會ノ議題ト爲スコト、ナリタリ。氏ハ之ト同時ニ各國ノ主要港灣ニ海員ノ補習教育機關ヲ設置スベシトノ提案ヲ爲シタルガ之ハ各國ノ義務トシテ採擇スルコト能ハザル事項ナルヲ以テ單ニ勸告トシテ可決採擇スルコト、ナリタリ。

第四 本會調査會ノ意見

本會調査會ハ右甲乙二問題ヲ審議シ大多數ヲ以テ左ノ意見ヲ採擇スルニ決シタリ

本件ニ就テハ左記要領ノ國際規約ヲ爲スチ妥當ト認ム

(甲) 十八歳未満ノ者ヲシテ船舶ノ火夫又ハ石炭夫トシテ其ノ勞働ニ從事セシムルコトヲ得ス但總噸數壹千噸未満ニシテ沿岸若ハ湖川港灣ニ限り航行スル汽船ニ在リテハ此限ニ在ラズ

(乙) 管海官廳ハ未成年者カ初メテ海員タラムトスルトキハ相當醫師チシテ其ノ體格検査ヲ行ハシメ主務大臣ノ定メタル規格ニ適合スルニ非サレハ之ニ船員手帖ヲ交付スルコトヲ得ス